



地域包括ケア時代の健康支援と作業療法士の役割
～地域支援事業を通じた健康支援の考え方～

講師：氏名 藤井 稚也

所属：岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科

WHO 憲章（1946）により「健康」が国際的に定義されてから 70 年以上が経過している。今日までには、定義への反論や見直し、概念の変遷、健康観の変遷、制度の変遷等があり、これらにより住み慣れた地域レベルで実践される取り組みの目的や方法等が大きく変化してきた。そして、今もなお、その変化は続いている。作業療法士を健康の支援専門職と例えられることから、これらの変化には敏感である必要性が感じられる。

さて、我が国では、地域包括ケア時代の真っ只中であり、高齢者等の社会参加を通じた自立支援または健康増進活動を通じた健康支援等が実践されている。その中では、地域包括ケアシステム構築のための主要プロセスである地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業や包括的支援事業等を効果的に運用する必要がある、作業療法士が参入するケースも増えてきている。

一方で、当ケアシステムは各地域の実情に応じて構築されるがゆえに、地域差も生じており、例え他を真似たとしても上手くいくとは限らない。また、作業療法士が参入を試みても上手く進められない、自立支援と健康支援が別々に捉えられてしまう等の声も聞かれる。実際、作業療法士の参入には、役に立つことのできるデザイン構築と提案、そして専門的視点が必要となる。

そこで本講座では、教育講座の目的に重心を置き、健康支援に関する考え方から地域支援事業に貢献する作業療法士に必要とされる役割、そして実践結果から生まれた課題等を主要内容とする。また、地域支援事業への参入経験の有無や所属先の種類に関わらず、多くの方に受講していただき、共に学び、共に考える機会としたい。

略歴

氏名：藤井 稚也（ふじい わかや）

現職：岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科 講師

【学歴】

2004 年 4 月 豊田学園医療福祉専門学校リハビリテーション科作業療法学専攻
(2007 年 3 月まで、作業療法士資格取得)

2013 年 4 月 日本福祉大学通信教育部福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科 4 年次編
入学 (2014 年 3 月まで) 学士 (福祉経営学)

2014 年 4 月 星城大学大学院健康支援学研究科健康支援学専攻
(2016 年 3 月まで) 修士 (保健学)

2021 年 4 月 中部学院大学大学院人間福祉学研究科博士課程 (現在に至る)

職歴

2007 年 4 月 JA 岐阜厚生連揖斐厚生病院 常勤作業療法士 (2013 年 3 月まで)

- 2013年4月 岐阜保健短期大学リハビリテーション学科作業療法学科
専任教員：助教（2017年3月まで）
- 2017年4月 岐阜保健短期大学リハビリテーション学科作業療法学科
専任教員：講師（2019年3月まで）
- 2021年4月 岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科
専任教員：講師（現在に至る）

【主な活動】

- 2014年 産学官連携共同研究事業
「健康増進活動参加者の健康の行動変容と心理社会面および生活機能に関する基礎的研究」
「看護師と作業療法士との連携による家族介護者のストレス緩和の研究」
- 2016年 （一社）岐阜県作業療法士会理事（現在に至る）
- 2016年 岐阜県健康福祉部高齢福祉課介護予防推進会議構成員（現在に至る）
- 2019年 岐阜地域医療・介護・福祉ネットワーク（菖蒲会）幹事（現在に至る）
- 2019年 各務原市フレイル予防推進事業・フレイルチェック検討委員会委員長
- 2020年 各務原市フレイル予防推進事業・フレイル予防推進委員会委員長
（現在に至る）

【著書】

- 2015年 Development of the new preventive care for elderly and families.
Lap Lambert Academic Publishing.（共著）
- 2016年 Brain training for the elderly. Verification of the effectiveness.
Lap Lambert Academic Publishing.（共著）
- 2017年 岐阜県介護予防マニュアル改訂版 岐阜県（共著）等

【主な教育活動】

養成校における研究教育

【主な所属団体】

- （一社）日本作業療法士協会
（一社）岐阜県作業療法士会
日本農村医学会
日本サルコペニア・フレイル学会
日本健康支援学会 等